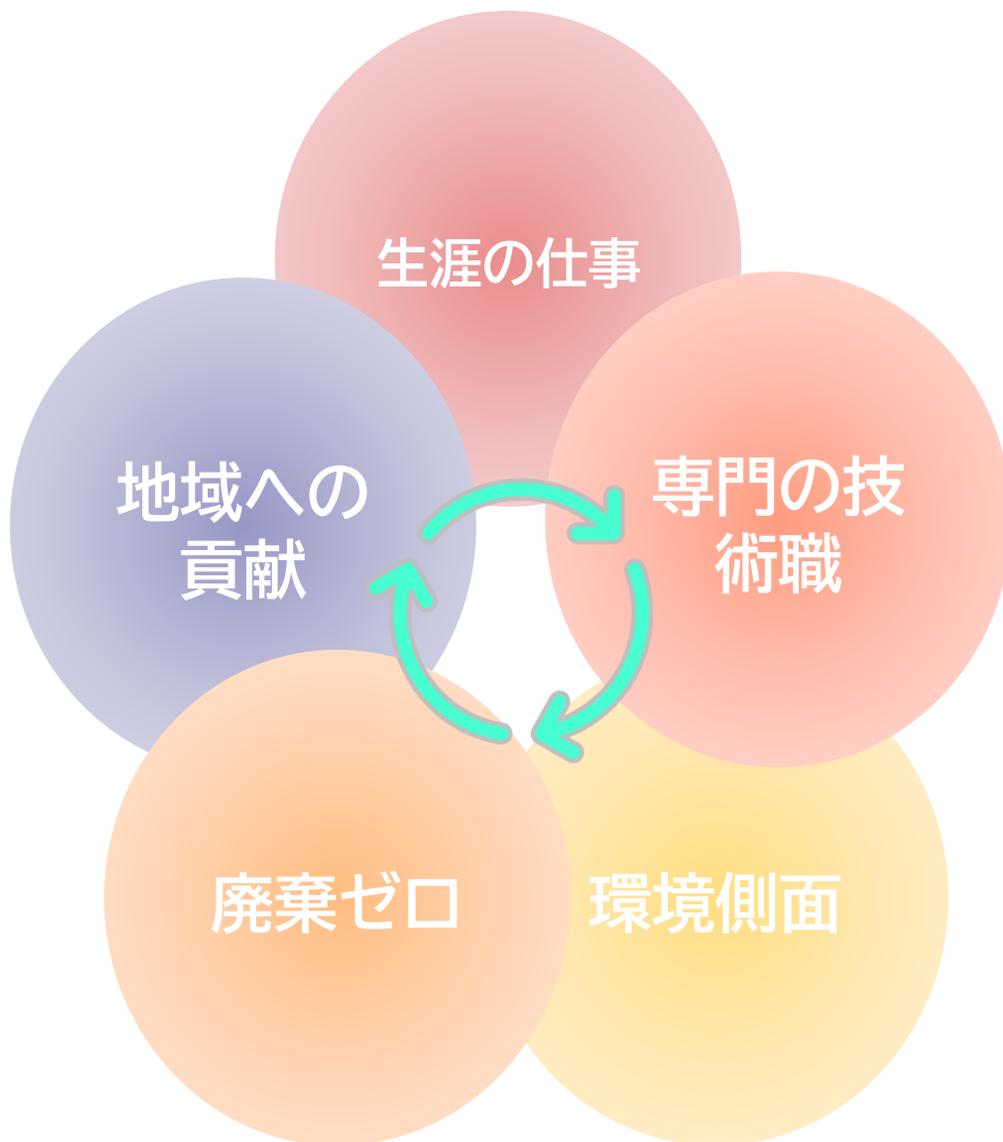


# 人と仕事と環境を「繋ぐ」ワークグループへ



特別支援学校卒業生等の障がい者と女性の短時間雇用の会社

(有)太田コイル製作所  
SDGs事業部



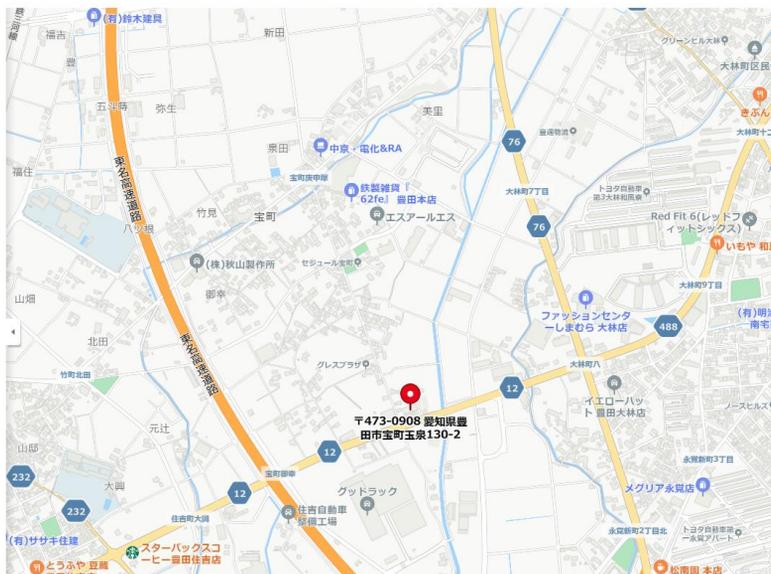


## 会社概要

会社名 有限会社太田コイル製作所  
住所 愛知県豊田市宝町玉泉130番地2  
代表取締役 太田仁  
従業員 取締役4名、パート8名(パートさん平均66.5歳)  
資本金 300万円

## 沿革

- 1961年1月 会社設立(豊田市津花100番地)  
9月 白川電機土木(株)様 川本ポンプ様向け 小型トランスコイル(φ0.04mm)  
明電舎様 ・ステーター組付  
戸上電機様 ・電磁スイッチ  
三洋電機様 ・ポータブルラジオ組付  
野田工業(株) ・スターターダイナモコイル→神星工業上郷製作所様に移管  
神星工業(株) ・細巻巻線→安城電機(株)様に移管
- 1968年 現住所(玉泉130番地2)に工場移転  
万能工業(株) ・フラッシュャー巻線→安城電機(株)に移管
- 1970年2月 安城電機(株)様(現在は(株)デンソーエレクトロニクス)と取引を開始。  
5月 現在は(株)デンソーエレクトロニクス様に一本化(神星工業様との取引を終了)
- 1992年 個人事業より「有限会社太田コイル製作所」に変更
- 2024年12月 SDGs事業所及び、事業部を設立
- 2025年5月 輸送事業部を設立(予定)



## シンボルとSDGsの関連性

### 「梅をモチーフにした5つの輪」

梅を弊社のシンボルに決定した理由とは・・・

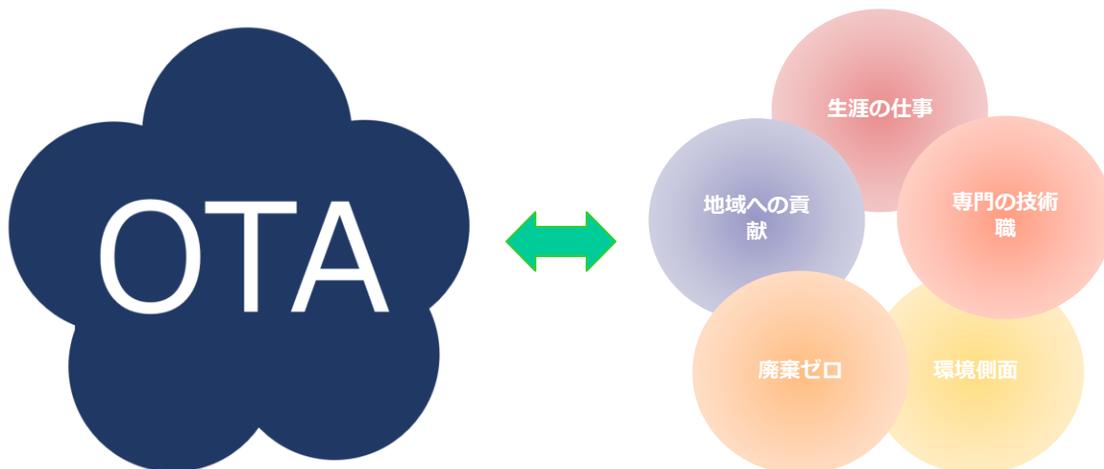
梅は「逆境に耐える、人生の理想を象徴する花」です。  
花言葉の「忍耐、不屈の精神、高潔は人生における必要なものである」、花としても楽しめるだけでなく、社会へ利益を生じます。

弊社もそういう会社でありたいという思いが、このシンボルに込められています。

社会貢献と次世代への「繋ぐ」という事からも、SDGsの概念とマッチした会社のシンボルになると考えております。

### 「5つの輪」の活動目標

- ・地域への貢献 …… 地域の人、社会に貢献していきます
- ・生涯の仕事 …… 長く続けられる仕事の維持と品質のマスター作業者の育成していきます
- ・専門の技術職 …… 女性+特別支援学校卒業生による高品質な仕事の拡販していきます
- ・環境側面 …… 生きている世界に還元していきます
- ・廃棄ゼロ …… 廃棄すべき製品を作らない集団と廃棄を出さない集団へ移行していきます



## 項目と目標値 1

地域への  
貢献

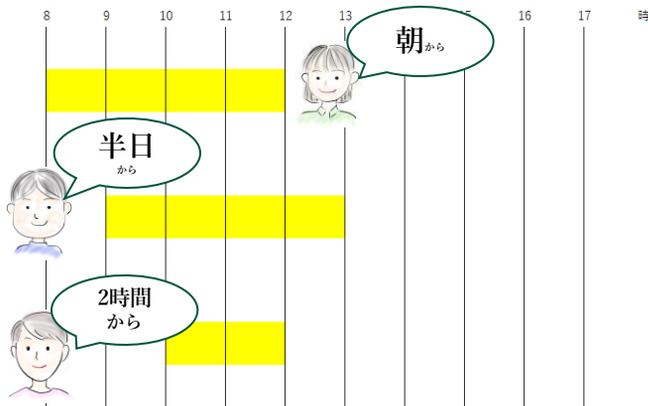
17 パートナシップで  
目標を達成しよう



「地域の人、社会に貢献していきます」

1. 地元の「特別支援学校生徒を含んだ障がい者」と「育児などで長時間働けない女性」の短時間勤務での雇用をします  
(2030年には7人雇用)

2. 全社員のフレックス勤務に移行していきます  
(2025年末までに)



3. 同じ思いを持つパートナー企業の発掘と提携していきます  
(2030年には8社)

・作業費は、基本（実際の作業工数×最低賃金×2.5）+輸送費（片道15km）となります。



4. 地域の資源回収や清掃活動のお手伝いをしていきます。  
(段ボールなどの資源の提供)

## 項目と目標値 2

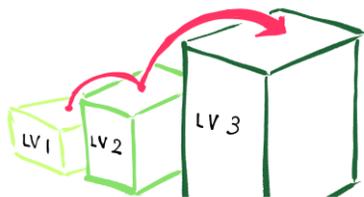
生涯の  
仕事



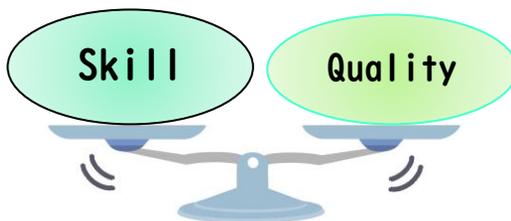
「長く続けられる仕事の維持と品質のマスター作業者の育成していきます」

1. 従業員のスキルアップと、「マスター」と言われる技術者+管理経営者の育成、その為の会社内での作業環境の構築と改善を続けていきます

- a 2026年までに研修部屋の設置します（既存の休憩室を改装）
- b 2028年までにマスターを2人の育成します
- c 2026年までにステップアップ報酬制度を制定し、実施していきます。
- d 2030年までにパートを短時間雇用に変更し、社会保険料を支払っていきます



2. 作業者と仕事をマッチさせる環境づくりの維持していきます



3. 従業員の支援体制を充実していきます。

最寄り駅、場所までの送迎や保護者様との連携していきます  
(terms、LINE、メール等の使用して、コミュニケーションの活性化していきます)



## 項目と目標値 3

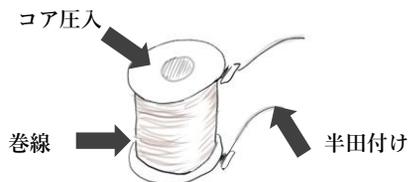
専門の  
技術職



「女性+特別支援学校卒業生を主体とした人達による高品質な仕事の拡販していきます」

・新規の仕事を確認する（2030年まで8種類）

1. コイル加工（試作、設計から巻線作業+後加工や処理まで）



2. 外観検査+選別作業（拡大鏡～顕微鏡）

- a 車関係の部品
- b 家電部品
- c 各種部品の試作
- d 地域の青果品



3. 手による組付繰り返し単純作業

- a 素子の寸法カット
- b テープ貼り
- c ハンドプレス作業
- d 分解作業
- e ハーネス組付け・・・等

4. 梱包作業

- a 市販梱包品
- b 小ロット品
- c 食品加工品



5. 輸送業務（新規事業として2025/1に立ち上げる）

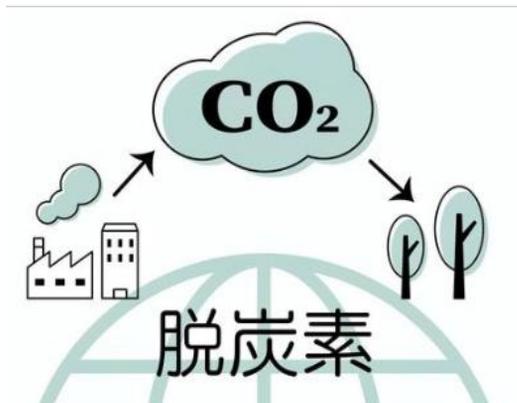
- a 地元企業間の輸送業務（範囲15km）
- b 輸送時の梱包作業
- c 箱掃除+箱管理

## 項目と目標値 4

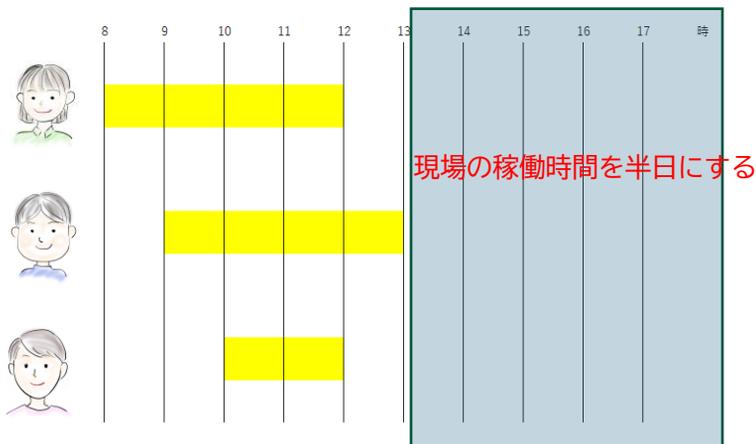
環境  
側面

「私たちが生きている世界（社会）に還元していきます」

1. 会社所有の森林の維持と管理（CO2吸収対策）  
2030年までに会長所有の森林を購入し、管理していきます



2. 短時間作業によるエネルギーの削減  
半日作業にすることで使用エネルギーを2026年までに約25%削減していきます



3. ガソリンを使用しない職場の体制づくりをしていきます
  - a. EV車の導入(2028年まで)
  - b. バッテリーを使用した主要工具の導入(2027年まで)

## 項目と目標値 5

廃棄  
ゼロ

12 つくる責任  
つかう責任



「廃棄すべき製品を作らない集団と廃棄を出さない集団へ移行していきます」



1. 不具合品を出さない会社へ

- a 不具合品の20%削減（2026年度）

2. ゴミになる紙等を出しにくいシステムの構築する（2026年度）

- a プラスチック+金属くず → **金属とプラスチックに分解し**リサイクルへ  
 b 電線くず+銅線 → リサイクルへ  
 c 繊維くず → **分別し**リサイクルへ  
 d 紙くず+鉄 → **分解し**リサイクルへ  
 e 段ボール → リサイクルへ  
 f ビニール袋 → リサイクルへ

3. 紙による資料の作成や保存の廃止する

- 紙ごみ → **記録は電子化（2026/6迄）**  
 内容明示等の部品に添付される紙 → リサイクルへ  
 カンバン等の不燃ゴミ → リサイクルへ（2026年6迄）